

2011年3月1日

報道関係者各位

アボット ジャパン株式会社

日東電工株式会社

マルホ株式会社

**テープ本体へ含量表示追加、内袋にバーコード表示、デザインも変更
貼付型長時間作用性気管支拡張剤「ホクナリン®テープ」(ツロブテロール貼付剤)**

アボット ジャパン株式会社 (医薬品事業部本社:東京都港区、代表取締役社長:ゲリー・エム・ワイナー、以下アボット ジャパン)、日東電工株式会社 (本社:大阪府、取締役社長:柳楽幸雄、以下日東電工)、ならびにマルホ株式会社 (本社:大阪府、代表取締役社長:高木幸一、以下マルホ)は、アボット ジャパンと日東電工が共同開発し、アボット ジャパンとマルホが共同販売している、気管支喘息、急性気管支炎、慢性気管支炎、および肺気腫の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難など諸症状緩解のための貼付型の長時間作用性₂刺激薬「ホクナリン®テープ」(一般名:ツロブテロール)のテープ表面に、有効成分であるツロブテロールの含量を表示し、内袋にバーコードを表示するとともに、内袋デザインを変更したことを発表しました。(写真参照)

昨今、利便性、およびアドヒアランス()の高さから、種々の疾患治療薬の剤型として貼付製剤の使用機会が増加しています。現在、ホクナリン®テープの表面には「ホクナリン」と「肺マーク」が表示されております。この度、有効成分ツロブテロールの「含量」表示を新たに追加することにより、救急搬送など緊急時に含量が識別しやすくなるとともに、医療事故防止のため、今回の変更となりました。

()アドヒアランスとは、患者さんが積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療をうけること

平成18年9月15日付で厚生労働省より通知されました薬食安発第0915001号「医療用医薬品へのバーコード表示の実施について」に基づき、小包装へ表示可能なRSSコード(Reduced Space Symbology)を内袋に表示することで、取り違いによる医療事故の防止、およびトレーサビリティの確保に役立ちます。

アボット ジャパン、日東電工、およびマルホは、今後も医療事故の防止に配慮し、ホクナリン®テープを使用する患者さんや医療関係者への貢献に努めます。

製品写真

【アボット ジャパン株式会社の製品】

変更前		変更後	
内袋	テープ本体	内袋	テープ本体
			
			
			

【マルホ株式会社の製品】

変更前		変更後	
内袋	テープ本体	内袋	テープ本体
			
			
			

表示変更に伴う患者さんへのご案内方法

医師や薬剤師等の医療関係者から患者さんへの表示変更の案内として、「お知らせシート」を製品に添付いたします。

医療関係者から患者さんへの説明用の「新旧表示比較表」を医師や薬剤師等に配付いたします。

医療関係者から患者さんへお渡しする「ホクナリン®テープ使用の貼り方指導箋」のホクナリン®テープの内袋、テープ表面の絵図を変更いたします。